

学習計画		(科目名 現代文 / 3年 IT・ライ・トップ)
学期	学習項目	学習内容・方法
第1学期	「サハラ砂漠の茶会」	・隨想を読む楽しさを味わう。 自分のこれまでの体験を見つめ直す。 様々な文章を読むことを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりする。
	「ナイン」	・文学的な文章について、人物、情景、心情などを的確にとらえ、表現を味わう。小説のさまざまな特色を把握する。作品の構成をとらえ、作品の主題を考える。作者の考えに対し、自分の意見を持つ。
	詩「発車」 「僕はまるでちがって」 「飛び込み」 「夕陽」 「友情の杯」	・作品の比喩の表現力を読み味わう。 描かれた、愛による人生の変革のありさまをとらえ、詩人の人生について考える。鮮烈な詩的イメージを感得する。平易な言葉の背後にある深い思想性を感じとる。
	「逆さに地図を眺めてごらん」	・作品の構成をとらえ、作品の主題を考える。 「友情」というものについて、思考を深める。
	「モノクロームの世界」	・論理的な文章について、論理の展開や要旨を的確にとらえる。 発想のおもしろさを味わい、新しい視点に立つことの意味をとらえる。 ・文章の構成を理解し、論理の展開の仕方をとらえる。 モノクロームの世界と色彩の世界のちがいについて考える。
	「TUGUMI一告白」	・作品の構成、登場人物の心理、人物像を的確にとらえ、テーマである「恋」について考える。
	「折り紙の夢」	・日常生活に伝統的な感覚やものがあることを見つめ直す。日本文化についての認識を深め、発展創造へのきっかけとする。
	「悲しむ」	・悲しみや暗さを直視し、深く考えることの大切さを認識する。 筆者の主張を正確に読みとり、これから自分について考える。
第2学期	「アンネの日記」	・自己を見つめ、深く考えることの大切さを認識し、本文を読むを通して、現在の自分をふりかえる。
	「鞄」	・表現のおもしろさを吟味し、味わい、特異な発想、卓抜な批評精神を読みとる。
	「短歌」	・短歌の表現法等の特色を理解し、短歌を鑑賞する態度・方法を学ぶ。 作者の他の作品を進んで探究する態度を養う。
	「俳句」	・俳句の表現法などの特色を理解する。 俳句を鑑賞する態度・方法を学ぶ。 作者の他の作品を進んで探究する態度を養う。
	「創造性としてのレトリック感覚」	・レトリカルな表現に対して興味を持ち、筆者の考えを理解し、言葉の持つ意義について、考えを深める。
	「敬語の正誤」	・敬語への認識を深める。報告書にはどのような工夫があるか、理解する。
	「漱石と文明開化」	・近代から現代までの時代状況についての筆者の考えを把握し、現代について考えるきっかけとする。
第3学期	「小さな巨人の時代」	・日常生活に潜む問題に目を向け、我々が生きる時代というものを深く考えるきっかけとする。
	「高瀬舟」	・明治の文豪鷗外の作品を読み、小説の読解力を深め、人間、社会について深く考えさせる。作品の構成や展開の仕方を丁寧にたどり、たくみな文章を読み味わう。

